

北地域まちづくり新聞

かわら版

第121号

(発行) 大口町北地域自治組織 (協力) 大口町 地域協働課

2022.12.1(師走)

ふれあいまつり 2022

11月5日(土)、6日(日)に健康文化センター、中央公民館の駐車場及び館内において『ふれあいまつり 2022』が開催されました。

さわやかな秋晴れの中、3年ぶりの開催となった今回は、町民や他市町の皆さんが、ふれあいまつりを待ち望んでいたかのような賑わいで、飲食禁止ということでしたが、両日共に大盛況でした。

北地域自治組織としても、5日(土)に自治組織の紹介としてブースを出展し、部会の活動内容を知っていただくと共に、皆さんとふれあいの時間を過ごすことができました。

配布物として準備していた備蓄用の水、大口町指定ごみ袋、各種チラシは、あっという間に、アンケートをご記入いただいた皆さんの手に渡り、わずかながらも北地域自治組織の広報活動ができたのではないかと思います。

また、北地域自治組織では、ブース展示のみではなく、会場内の環境パトロールによる美化活動、江南警察署の展示支援活動も行いました。中でも、白バイとの記念撮影は、長蛇の列ができるほどの人気でした。



【環境パトロールの様子】



【自治組織及び事務所の紹介】



【記念撮影用の看板】

私たちは、大口町北地域自治組織とともにまちづくりに取り組んでいます。

おいしさと安心をお約束する総合フードサービス

おせち料理・
各種会合料理
など 承ります



写真はイメージです
本社/丹羽郡大口町下小口三丁目 123 番地
TEL (0587) 95-7181(代) 0120-83-29-37

味・信頼・満足感

らなぎの大安

犬山大安本店

0568-67-7498

犬山駅東フロイデ店

0568-65-0636

避難行動要支援者登録制度の勉強会について

11月12日(土)健康文化センター4階ほほえみホールにおいて、健康生きがい課と福祉子ども課の職員を講師に招き、避難行動要支援者登録制度の勉強会を開催しました。

①大口町の高齢者の現状 ②避難行動要支援者登録制度や課題 ③質疑等を行いました。同意者名簿の提出が少ないことや、地域支援者がいない避難行動要支援者がいることが分かりました。しかし、避難行動要支援者の多くは、災害時だけでなく日頃からの支援が必要な人です。災害発生時の助け合いを円滑に行うために、地域で見守り合う「お互いさま」という、より良い関係づくりをみなさんで進めていきたいと思えます。

大口町避難行動要支援者登録制度とは

災害時に、高齢の方や障がいをお持ちの方などで、支援を受けないと避難が困難な方が、安全な場所に避難するために、あらかじめ近隣の方に支援をお願いして、町に「避難行動要支援者名簿兼個別計画票」を提出します。これをもとに、関係団体である自主防災組織、民生・児童委員、消防団及び社会福祉協議会、警察が災害時における避難支援や安否確認を行います。



【講師の話聞く参加者の皆さん】



【質問にハンドサインで答える様子】

園児たちが訪れました ～大口中保育園～

10月3日(月)に、防災頭巾を被った大口中保育園の園児約160名とヘルメットをかぶった保育園の職員の皆さん35名が、避難訓練と施設内の見学を兼ねて、大口北防災センターを訪れました。

藤田会長が、「いざという時に、お父さんやお母さんと離れて迷子にならないために、避難場所を確認しておこうね」などと、園児に分かりやすく話しました。

施設見学の後は、柔道畳が敷き詰めであるスペースで、園児たちは、ゴロゴロしたり、走り回ったりと少しリラックスして楽しみました。



【北防災センターで話を聞く園児たち】